

# インジェクトスプレー

## アクチゾールコンパクトⅢ



0001326

通常納期

### 最先端テクノロジーの結晶

エアコンプレッサーによる圧縮空気と薬液タンクで圧縮された薬剤がノズル先端部で合流する二流体ノズルによって微粒噴霧を可能にしました。一般に二流体ノズル形式はノズル部とタンク部が一体型となっていますが、アクチゾールの分離形式は機械本体を置いたまま、ノズルだけを持って細かい作業が可能です。

(伸縮自在のコイルホースにより3m離れた場所でのノズル操作が可能)

### 製品仕様

商品名	アクチゾールコンパクトⅢ
メーカー	E. D. S. 社(米国)
発注単位	1台
動力	AC100V/300W
商品コード	0001326
サイズ	W343×H178×D172mm
重量	7.9kg
タンク容量	900mL
吐出量	55mL/分
使用剤形	水性乳剤、MC剤
備考	C/C処理などの局所重点処理

### □脅威の到達性

最近の建物構造は壁の中などいろいろな所に隙間や空間がありゴキブリはさらに奥へと潜むようになりました。アクチゾールは電源スイッチを入れると同時に、ノズル先端部より圧縮空気が排出されます。その空気の流れが出来たところでレバーを握り、薬剤の噴霧粒子を乗せ、更に薬剤噴霧停止後、圧縮空気ですべて薬剤を後押しすることにより、奥の奥まで薬剤を到達させるのです。

### □安全そして経済的

アクチゾールの圧縮空気による微粒発生システムはゴキブリの生息場所である隙間、割れ目に直接ノズルを押し当て噴霧するため、的確に薬剤を無駄なく処理できるとともに、ULV施工に見られる薬剤の跳ね返りが無いため、作業者が薬剤を被ることも少なく、必要外の部分に薬剤が付着することも防ぐことが出来ます。

### □特殊設計ノズル

約50cmの特殊設計ノズルは、頭上や壁面、モノの背後など接近困難な場所でも施用が可能です。



### ここがポイント!

#### インジェクトスプレー工法とは

小型コンプレッサーと特殊な二流体ノズルによって得られた微粒子の薬剤を、空気の流れとともにゴキブリの潜む場所にダイレクトに送り込むシステムです。

ノズル部分と薬液タンクが分離形式のため、必要最低限の薬剤を的確に噴霧することができます。

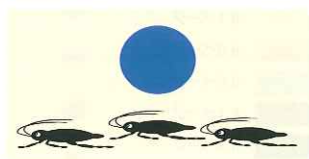
#### “ひざ”が汚れてこそPCO!?

米国では以前から、PCOの作業者の「ひざ」部分が作業後汚れていることが、丁寧な作業を行った証と言われています。厨房内でのベイト処理、残留処理において、ゴキブリの生息ポイントは床下から覗かなければ見つけられません。従って「ひざ」を付いての作業をするのは当たり前、現場によっては厨房の床に腹ばいになっての施工を行わなければならない状況もあります。作業服の汚れを気にしては、良い施工が出来ないということです。



## ULVとしての最適な粒子の大きさ

1000μ      100μ      10μ      1μ      0.1μ      0.01μ



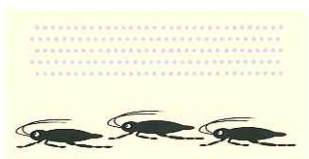
#### 液剤の粒子が大きい場合

昆虫に当たる前に落下したり、一部が当たるだけで、ムダが多く非効率です。



#### 液剤の粒子が最適な場合

直径が5~20μの粒子は空気中に長時間浮遊し、室内の隅々まで到達します。また、この粒子径が最も害虫に付着しやすく効率的です。



#### 液剤の粒子が小さすぎる場合

粒子が小さすぎると空気中に浮遊し、付着しにくく、これもムダが多くなります。

噴霧機の種類によって粒子のサイズもいろいろです。

建築物内のULV処理で最も適切な粒子は5~20ミクロン。

この大きさに集中していれば、効率の良いULV機ということがいえます。